

支援プログラム



事業所名 トモデココフレール（放課後等デイサービス）

作成日 R6.11.1

法人理念	人を育み、社会を創る		
事業所理念	子どもたちが、将来に向けて「地域の一員」として活動できるよう、一人一人の特性に応じた総合的な療育を届ける		
支援方針	①一人一人に応じて、「感覚統合・ビジョントレーニング・SST・学習支援・認知トレーニング」を組み合わせた療育プログラムを作成します ②「やってみたい」という気持ちを大切にします ③個別と集団支援を組み合わせ、「人間力と社会性」の成長につなげます ④子どもの育ちを促すと共に、放課後児童クラブ等の併行利用や移行に向けて支援します ⑤指導者は、個々の専門性を活かして療育支援にあたります ⑥家族支援を念頭に起き、常に保護者のサポーターであることを意識します		
営業時間	9:30～18:30（土曜・祝日・学校休業期間は9:00～16:00）	送迎実施の有無	有 ・ 無
支援内容			
本人支援	健康・生活	プログラム「ヘルス&マナー」では、体づくりや食事の大切さを学びます。ディスカッションやロールプレイを取り入れ、子どもたちが主体的に自分の体の変化や成長、将来について考える機会をつくっています。掃除や片付けなど生活に必要な日常行動や身近な自然や虫に触れる外出機会を増やし、暮らしのなかで自分なりの工夫や楽しみを見つける力につなげます。	
	運動・感覚	ビジョントレーニングでは、ピンポン玉キャッチやナンバータッチなどの眼球運動トレーニングにより、虫捕りや物を作る等の動作に必要な目と手の協調の育成・感覚の発達を大切にしています。全身運動では、心身ともに健やかな体づくりを目指し「体幹を鍛える」「体力増進につなげる」を重視した運動療育プログラムを実施しています。	
	認知・行動	視覚処理・聴覚処理・記憶・処理速度等、個々の特性に応じた認知力を見極める機会として、学校から持ち帰る宿題の取り組み支援をしています。「工作・手指の運動」では、作品作りを通して手先の巧緻性（こうちせい）や色彩感覚に働きかけ、個性を伸ばし、感性を高める機会を増やします。ドミノを使った活動は、空間認知トレーニングにつなげています。	
	言語・コミュニケーション	ソーシャルスキルトレーニングでは、言葉遣いや自分の気持ちを表現する力の育成に着目しています。未就学児から中学生が共に活動することで、自らの体験を通して、立場・年齢の異なる他者への配慮や言葉かけの必要性に気付ける工夫をしています。	
	人間性・社会性	各プログラムのなかで行う「ディスカッション・アナログゲーム・ロールプレイ」等を通して、他者との関わり方を学ぶ場を大切にしています。積極的にゲーム性の高い運動や活動を取り入れ、ルールを守る態度、負けた時の感情コントロールの育成につなげます。	
家族支援	送迎時、支援ルームで取り組みを見てもらい、指導員がお子様の変化をその場で伝えていきます。困り感に耳を傾けると同時に、成長の喜びを共有することで、将来に向けた展望について話す場をつくっています。	移行支援	放課後児童クラブ等の併行利用先と、お子様の状態や支援内容の共有、利用日数の調整を行います。また、地域行事への参加や出前授業を通じた地域住民との関わり、公共交通機関の利用等、積極的に地域との交流を持ちながら、社会経験の幅を広げ、同年代の子どもをはじめとした、地域における仲間づくりを図ります。
地域支援・地域連携	地域や学校等において、安定した生活を送ることができるよう、学校や相談支援事業所等の関係機関と支援内容の共有及び情報交換を行い、連携して支援を行います。	職員の質の向上	①療育支援スキルを高める専門研修②コミュニケーション・社会人基礎力向上研修③チューター制度導入による、新入職員の育成を実施しています。社外の自己啓発研修参加の促進に向けた社内補助金制度、人材育成評価制度の活用で個々の強みを伸ばす仕組みを取り入れています。
主な行事等	土曜日・祝日の療育では、四季折々の行事や、ものづくり体験、自然遊び等、お子様の興味ややってみたいという気持ちを引き出す、多彩な活動プログラムを実施しています。		